

OKYAKUSAMA NO OTAKUHAIKEN!!

# お客様のお宅拝見!!

シルエット | 浜松市 S様邸



浜松市中区の高台エリア、新緑が美しい並木道沿い、白と黒のツートーンが美しいS様邸。「落ち着いた家」がコンセプトの住まい。どんなすまいが出来上がったのでしょうか。



木目調の軒天、白壁と黒壁の切り返し、格子戸をイメージさせる木目調の玄関ドア、和のモチーフを随所に取り入れた外観はどこか懐かしさを感じる佇まいです。案内頂き玄関ドアを開けると、1柱式のサイクルラックを組み込んだ土間収納付の玄関ホールが広がります。

廊下からリビングへの動線は、縁側風の廊下となっており、サイド光によってもたらされるフローリングの陰影が端正な雰囲気を醸し出しています。「シェードに映る庭の木々の影がとても雰囲気が良く、縁側は、(採用するか)最後まで迷いましたが、作ってよかったです。」とご主人。リビングに入ると和テイストの外観とは趣の異なる、現代風のシャープな印象の空間が広がります。キッチン



土間収納



シェードに映る庭の木々の影

楽しみながら作業を見守りました」これまでを振り返り、楽しそうにこう話してくれました。

「注文住宅は、決めなければいけない事が多くて大変で



オールステンレスのキッチン



LDK



した。(仕上がり)を想像しながら決めなければいけない事もあるので苦労しましたが、今となっては良い思い出です」とご主人。

新築後変化した事を伺うと「友達を呼んでホームパーティができるようになりました。泊まってもらえるようになったのも嬉しいです。」

「それと、掃除をよくする様になりました。前はしなかったという訳じゃないですよ、収納を多く確保したので、そうすると、ちょっとしたゴミや埃が気になってしまって(笑)…」と奥様。



和室

CAD、3DCG、シミュレーション等、最近の家づくりは、仮想空間の中で、完成形をチェックできるようになり、確実なプラン作りや設計ができるようになりました。だからといって、感動や驚きがなくなった訳ではありません。精緻に計画されたS様邸も木漏れ日のシルエットや吹き抜ける風の心地良さなど、暮らしてみても初めてわかる、うれしい発見がたくさんあったそうです。「これから外構に手を加えていきます」とご主人。まだまだ新たな発見や感動が見つかりそうなS様邸です。